
「踊るいとこず」

三毛猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「踊るいとこーず」

【コード】

N0889BA

【作者名】

三毛猫

【あらすじ】

お盆に祖父の家に帰ったら、テレビを見ていた従姉妹が一緒に踊ろうと誘ってきた。

【従姉妹】 【アイドル】 【アイスクリーム】 のお題で書かれた掌編です。

以前textpoにて公開していました。現在pixivにても「三毛猫の三題話」の一遍として公開中です。

昔からうちはお盆に母方の祖父母の家に帰る。今年も例年のように帰ると、先に帰っていたいとこの佐奈がテレビの前でアイスクリームを食べていた。

あたしと佐奈は、血縁上は従姉妹なのだが、遺伝子上は姉妹に近いというちょっと変わった関係になる。あたしの父も母も一卵性の双子で、双子同士が結婚したのでこういうちょっと変わったことになっちゃったのだ。

お互いの歳も近く、名前もあたしが佳奈でいとこが佐奈、でなんだけ姉妹っぽい。住んでいる場所が少し遠いので年に数回しか会えないのだが、メールや電話のやりとりはよくしているのであまり久しぶりに会ったという気がしない。

佐奈に「や！」と片手を上げて挨拶したら、佐奈はテレビの方を向いたまま「よ！」とアイスを持った手を上げて答えた。

何を夢中になって見ているのかと、佐奈の背中からテレビを覗き込むと、割と有名な双子のアイドルが綺麗に左右対称で踊っていた。

「よし！ カナちゃん、踊ろっ！」

「え、ちょっと」

まだ荷物も下ろしていないのに、佐奈に引っ張られてテレビの前で無理やりポーズをとらされる。見よう見まねで、テレビの双子に合わせて手や足を動かす。

歌の最後にじゃーん、と佐奈と二人してポーズを決めて、さっと後ろを振り返ったら、あたしと佐奈の両親が同じようにポーズを決めていた。

「あんたら面白いネエ」

あばあちゃんが、なんかニコニコしながらカメラのシャッターを押した。

(後書き)

仲良く踊る「いとこーず」の後ろでぴったりそろって踊る双子の夫婦を想像してによによしててくださいというお話。

おばあちゃんはおもしろ写真コンテストに写真を投稿して賞をもらったとか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0889ba/>

「踊るいとこず」

2012年1月2日00時48分発行